

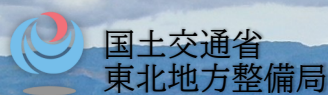
東北地方整備局

事務系職員 職員採用案内

東北の未来を つくる仕事。

私たち東北地方整備局は、地域の安全・安心を守り、
活力を与え、豊かな暮らしの実現に向けて、インフラ
整備を通じ、「東北の未来」をつくっています。

事務官ならではの仕事を通じ、整備局職員をサポート
し、地域の暮らしを支え、多くの人の役に立つ仕事が
ここにあります。



CONTENTS

03

BUSINESS OUTLINE

整備局の業務内容

03-04 総務・厚生

05-06 会計・経理

07-08 河川

09-10 道路

11-12 港湾

13-14 用地

15-16 建政

Column 若手事務研修



17

CAREER

若手職員の経歴



19

QUESTIONS AND ANSWERS

若手職員へQ&A

24

MESSAGE

皆さんへメッセージ

業務概要

事務官はどんな仕事をしているのでしょうか。業務の紹介と、実際に働いている先輩職員の声聞いてみました！

総務・厚生

職員の配置、研修による人材育成、勤務時間管理、給与・手当の計算、福利厚生の事務や庁舎管理等の事務を行います。法律や規則に基づき、制度の適正な運用を図るとともに、職員個別のケースに柔軟に対応し、一人一人が安心して日々の業務に向き合えるよう、環境づくりに努めています。



リクルート活動や職員の人事異動、赴任旅費に関する業務に携わっています。説明会に参加してくださった学生さんたちが東北地方整備局を志望し、内定式や入省式に参加している姿を見ると、とても嬉しく思います。



主に職員の保険、貯金に関する業務や、職員の被扶養者を認定する業務を行っています。最初は基礎知識を身につけるのが大変でしたが、職員の福利厚生に関する仕事はとてもやりがいを感じます。

光熱水量費、物品管理事務、配車関係等の業務に携わっています。最初の方はわからないことばかりでしたが上司に助けをもらいながら自分の業務を進めることができました。



職員の給与に関わる仕事をしています。1年目はわからないことばかりでしたが、2年目になってできることが増えてきました。毎月給与が支払われると達成感を感じます。



齋藤 美織 さん

山形河川国道事務所 総務課
(令和2年度入省)

齋藤事務官のある1日

- 8:30 … 出勤
- 午前 … 旅費作成業務など
- 12:00 … お昼
- 午後 … 書類の作成・チェックなど
- 17:15 … 退庁

東北地整を志望した理由を教えてください。

漠然と公務員になろうということしか決めていなかったのですが、その中にどのような仕事があるのか学生の頃は知りませんでした。整備局のことは公務員試験後に配られたパンフレットで知りました。生活していく上で大切な道路や河川の管理などの仕事をしている所に興味を持ち、自分も携わりたいと考え面接をうけました。

入省時の思い出は何ですか？

コロナの影響で最初の研修が事務所ごとのオンライン研修に変わり、事務所の同期は6人のうち女子が自分だけだったので寂しかったのを覚えています。ただ、配属された総務課は女性職員が多く、仕事を教えてくださる係長もたくさん話しかけてくれてとても優しくかったので、安心しました。

現在の業務内容を教えてください。

旅費の支払業務や非常食の管理、職員の勤務時間管理などの仕事をしています。旅費業務はコロナの影響で少なかったのですが、職員によって行程などが様々なので、日々勉強しながら作成しています。

特に印象的だった業務は何ですか？

1年目の赴任旅費の支払いが特に印象に残っています。赴任してきた人に引越代を支払うのですが、ちょうど令和2年度から改正された部分があり、前例がないのとまだ採用されたばかりで分からないことだらけだったので、たくさん悩んだのを覚えています。しかし上司がいろいろ修正してくれたり、一緒に書類を作ってくれたりと助けてくれたので、無事全員に支払いをすることができました。



旅費打合せ

転勤についてはどう思っていますか？

私は宮城県出身で山形に来るのは初めてだったのですが、山形のさくらんぼやラーメンなどが食べれたり、仕事をしている中で山形のことをいろいろ知れたりしてとても楽しいです。旅行となると観光地しか行かないけど、その地域に住むことで知れる魅力や発見などが多いのでおもしろいです。

職場の雰囲気はどうですか？

課内は先輩ばかりですが、質問すると優しく対応してくれたり、普段もいろいろ気にかけてくれたりするのでとても過ごしやすいです。休暇も上司の方から、休んでも大丈夫だよと声をかけてくれるため取りやすいです。

乗り越えた壁はありますか？

悩むことがあっても、上司に相談するとすぐに教えてくれたり、一緒に悩んだりしてくれるため、まだ大きな壁に当たったことはないです。係長など総務課の人たちにはいつも助けられています。

最後に後輩になるかもしれない方々に一言お願いします！

初めての職場は不安を感じると思いますが、わからないことがあっても相談しやすい環境なので安心してください。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

上司や周りの方々のサポートがあり、職場の雰囲気の良さがとても伝わりました。ありがとうございました！！



若手事務研修の様子

会計

国は毎年度、国会で可決された予算の範囲内において支出を行う必要があります。会計・経理部門では、国の公共事業の執行に必要な経費の支出や国有財産等の活用から生じる収入などの予算・決算に係る全ての事務処理を行います。

契約

道路やダム、橋、港湾等の建設から事務用品の購入まで、調達に関する取り決めの基本となるのが契約です。競争性・透明性・品質確保を土台とした多様な入札・契約方式により計画的に発注を行い、円滑な事業推進の一翼を担います。

会計



事業費の予算管理等を行い、繰越申請や予算の流用に携わることができました。

給与の支払業務を行っています。費用を要求し、実際に支払うまでの流れを学ぶ事ができました。

会計法規担当として法規関係業務等を行いました。細則の改正等、会計規則を理解していないと難しい面も多々ありましたが、自分自身の知識が深まり今後働いていく上で役立てていきたいと感じました。

契約



工事・コンサルの発注及びその後の業務を行っています。発注は公告から契約締結までを行い、契約後も工事によっては、前金払・部分払などの支払い・中止・部分使用・変更契約などの作業を伴います。



自分が契約手続き等を行った道路の工事が完成し、開通式で地元の方の喜んでいる姿を見たときは、大変な思いもしたが頑張ってきて良かったと感じました。また、自分が携わっていた事業のスケールの大きさを改めて感じました。



児島 弘龍 さん
福島河川国道事務所 経理課
(平成30年度入省)

児島事務官のある1日

- 8:30 … 出勤 (メールや1日の予定の確認)
- 10:00 … 発注資料の確認
- 12:00 … お昼 (お弁当を注文して食べます)
- 13:00 … 資料の作成 (契約業務の支払資料や公告資料を作成します)
- 15:00 … 公告等の手続 (電子システムへ公告情報等の登録を行います)
- 17:15 … 退庁

東北地整を志望した理由を教えてください。

当局の説明会に参加し、雰囲気の良い職場だと感じた点や、生まれ育った東北の復興に大きく貢献できる点が志望した理由です。

入省時の思い出は何ですか？

入省時、上司に何度も助けて頂いたことが印象的です。業務のご指導はもちろん、失敗をして落ち込んでいた際には、ご飯に誘ってもらい励ましていただきました。たくさん助けて頂いた入省一年目でした。

現在の業務内容を教えてください。

工事・コンサルなどの契約業務を担当しております。

特に印象的だった業務は何ですか？

工事の契約業務です。昨年、相馬福島の復興支援道路が全線開通になりました。そこで自分が契約担当をしていた箇所を実際に見たときは、やりがいを感じました。

乗り越えた壁はありますか？

異動により業務が変わり、当初、問い合わせなどうまく対応できない時が多々ありました。しかし、上司の方からアドバイスやサポートをいただき、乗り越えることができました。

転職についてはどう思っていますか？

色々な土地を知れる良い機会だと思っております。転職した際には、休日に色々なところに行き土地を学んでいきたいと思っております。



採用から現在までの
経歴を教えてください！

1年目 岩手河川国道事務所 総務課

期間業務職員関係や旅費業務を担当しました。旅費の支払いは、旅行者ごとに行程が違うため、会計実務要覧等と照会しながら処理するのが大変でした。

2～3年目 岩手河川国道事務所 経理課

契約業務の役務契約を担当しました。契約では、コンプライアンスを意識し業務をすることが多く、業者との対応については発言内容に気をつけていました。

4年目 福島河川国道事務所 経理課

主に契約業務全般を担当しています。自分が手続を行った工事を、復興支援道路の供用で目にするのができたときはとてもやりがいを感じました

最後に後輩になるかもしれない方々に一言お願いします！

東北地方整備局は、面倒見がよく、暖かみのある方が多いです。皆様と一緒に働くことを楽しみにしております。

契約業務は法令や規則、コンプライアンスなど、注意しなければならないことがたくさんありますが、スケールの大きい仕事もあり、それが仕事のやりがいにつながっているんですね。貴重なお話をありがとうございました！！



(左：経理課長 右：児島さん)

河川

河川は日々変化しており、それに伴った管理が重要です。

河川管理では堤防の除草から、河川を使用する際の占用許可等、国民の生活に寄与する業務を幅広く担当します。

河川区域内の工作物設置に係る許可などを行っています。河川法という法律に基づいて業務を行うので、法律を正しく理解して仕事をするのが大変でした。



主に河川法に係る許認可事務（一般占用等）及び指定行為等の業務を行っていました。

水利権に関する申請の審査を担当しました。覚えるべきことが多く苦勞しましたが、段々と自分の考えを述べられるようになってくると、やりがいを感じました。



東北各県の県単独の事業（川の工事）に対して補助金を交付する手続きを申請書類等を通して行っております。

河川法を覚えるのが大変でした。河川法に基づいて許可を出すので、基本的な内容を人に説明できるくらいに理解できるよう日々勉強してます。

上司の方々が優しいので、とても働きやすい環境です。



佐藤 智仁 さん
河川部 水政課
(令和2年度入省)

佐藤事務官の1年

4月～6月

- ・申請書の出し忘れがないよう、事務所と打合せを行う
- ・1年間の業務について本省と打合せを行う

7月～9月

- ・多くの水利権で、大量の水を取っているため、この様子を現場視察
- ・災害対応がなければ比較的閑散期

10月～12月

- ・年度末が近くなり更新申請が多く来るため比較的繁忙期

1月～3月

- ・次年度の案件について事務所にヒアリング
- ・後任への業務の引継ぎ

東北地整を志望した理由を教えてください。

巨大な構造物が好きで、ダムや道路のような巨大インフラの計画から維持管理まで携わることができるのは国土交通省だ！と思ったからです。

最初から公務員を目指していましたか？

進路を考え始めた時は民間も視野に入れていました。でも好きなこと、やりたいことを分析していく中でインフラに関わる仕事がしたいと思い、公務員に絞りました。また、民間も見た上で、じっくりと経験を積み、行政に求められる公平、衡平の感覚を自分なりに得つつ成長できる公務員の仕事に魅力を感じました。

入省時の思い出は何ですか？

入省してすぐの現場視察で、自分の実家に近い建設中のダムを見に行ったことです。上司の話を聞き、なんとなく「利用する側」であったインフラを「建設・管理する側」の考えや視点を知ると見慣れた地元の景色も違って見えました。

現在の業務内容を教えてください。

カッコよく言うと、東北の水利秩序を守っています。具体的には水利権の審査業務をしています。簡単に言うと、川から水を取りたい人からの申請を受け、内容を審査して許可するような仕事を主にしています。

特に印象的だった業務は何ですか？

海岸線の調査のため、ヘリで日帰りで青森県沖まで行ったことです。上空から見た東北の地形や景色は今も目に焼き付いています。



上司と海岸線調査中の様子

乗り越えた壁はありますか？

上司のサポートを受けつつ、毎秒15m³ (25mプールが40秒で満タンになる量) 以上の水を取る水利権の更新申請を審査し許可したことです。最初書類を見たときはその分厚

さとその水利権の歴史に自分にできるか心配になりましたが、上司に相談しつつ読み解いて何とかこの壁を乗り越えました。

転職についてはどう思っていますか？

転職については前向きに考えています。水政課では夏の時期にだいたい月に1度、東北各地に現場視察に行くのですが、上司や現場の人に「あそこがいい温泉がある」「このラーメン屋がうまい」と教えてもらえるので転職の時の楽しみができます。東北各地を見てその地域を道路・川・土地等といった視点から深く理解できるのは仕事のやりがいにもなります。

職場の雰囲気は如何ですか？

私の周囲では仕事の話だけでなく雑談もありつつにぎやかな雰囲気で1日1回は爆笑しています。休暇は普段から取りやすいのはもちろんお盆の時期や年末年始には10連休程度確保することも可能です。

最後に後輩になるかもしれない方々に一言お願いします！

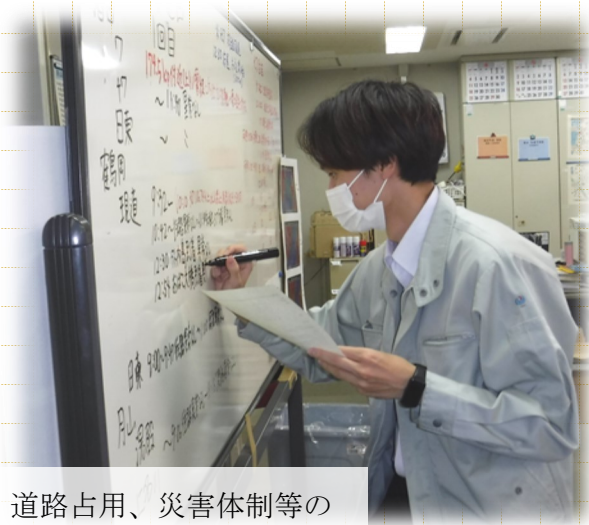
国交省には「現場」があり、何気ない日常の景色のほとんどに関わる仕事をしています。ですから、みなさんがそれぞれ日常で得た知識や考えが仕事を進める上で生かれますし、それが必要になります。みなさんの考えを聞き、一緒に仕事ができるのを楽しみに待っています。

水利権申請の審査や現場視察等を通して、東北の河川や私たちの日常が守られていることが分かり、佐藤さんのお仕事は東北を支える仕事だと感じました。ありがとうございました！！

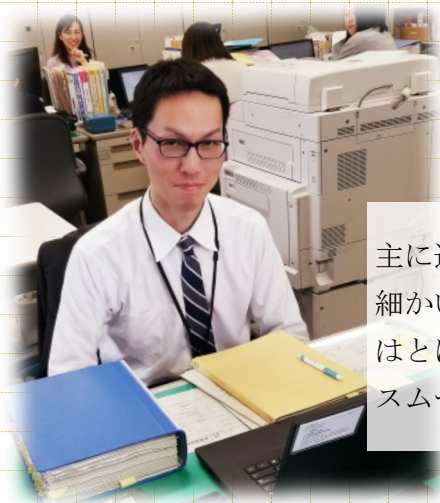
道路

道路占用や道路区域の変更、
供用の開始に係る内容審査

等、主に国が管理している国道(指定区間)に関する様々な業務を行います。道路にひび割れが発生したり、問題が発生した場合には補修や対処するのも道路管理の仕事です。



道路損傷復旧(法22条)、道路占用、災害体制等の業務に携わりました。分からないことは上司に確認して、早く覚えられるよう努力しました。



主に道路占用関係の業務に携わっています。最初は法令や細かい規定などが全く分からず大変でした。空いている時間はとにかく資料や法令を読んで勉強をしたことで、徐々にスムーズに仕事を進められるようになりました。

道路における訴訟案件(管理瑕疵、道路付属物損傷に係る賠償請求等)、地方道路公社に関する業務を担当しました。一般の方を相手とした業務が多いため、より公正・適切な業務を求められ、緊張感がありつつも上司にご教示いただきながら、業務に励みました。



道路管理をしていた際、自動車専用道路の供用告示(道路を一般に供用するための手続き)を担当しました。自分が手続きに関わった道路が開通し、実際に車両が走っている様子を見たときは嬉しかったです。



齋藤 凱斗 さん
酒田河川国道事務所 調査第二課
(平成29年度入省)

齋藤事務官のある1日

8:30 出勤

メールの確認や所内の事業に関する記事がないか、新聞を確認

午前 広報資料作成

業者と資料校正の打ち合わせ

午後 要望会対応

発言内容の書き起こし

採用から現在までの経歴を教えてください。

1～3年目 山形河川国道事務所 経理課
物品管理、契約業務を担当しました。目にする金額の大きさにとても驚いたのを憶えています。初めて入札システムを扱ったときには、緊張で思わず手が震えました。

4年目 酒田河川国道事務所 道路管理課
道路占用、災害対応業務に携わりました。災害対応は突発的に生じる場合もあり、大変ではありましたが、同時にやりがいを感じました。

5年目 酒田河川国道事務所 調査第二課
広報事務、各種要望・大会・協議会等の対応業務を担当しています。内部・外部との連絡調整が多く、メールボックスがすぐ埋まってしまうので、整理に苦労しています。

東北地整を志望した理由を教えてください。

災害時の報道等から防災官庁として幅広い職務を行っていることを知り、自身も東北地方のために働いてみたいと感じたからです。

最初から公務員を目指していましたか？

地方、国家公務員で判断は迷っていましたが公務員を目指していました。

現在の業務内容を教えてください。

広報担当及び要望・大会・協議会対応の業務を行っています。

特に印象的だった業務は何ですか？

数ヶ月前から準備をしていたフォーラムが、無事開催され問題なく閉会まで終了したときは、大きなやりがいを感じました。

乗り越えた壁はありますか？

同時期に多数の案件の対応をしなければならなかったときです。その際には、課内の方に協力いただいていたなんとか対応できました。そこで、人を頼ることも大切なことだと改めて実感しました。

転動についてはどう思っていますか？

最初は不安もありましたが、実際に住んでみるとその土地ごとの魅力に触れることができ、楽しみを見いだせました。

最後に後輩になるかもしれない方々に一言お願いします！

同じ事務官でも多種多様な仕事があり、私自身まだまだ経験のないことが数多くありますが、どれも大切な仕事だと感じています。また、ひとつひとつ経験を積んでいくごとに、自身の成長を感じられます。皆さんが東北地方の未来を支える仲間になる日を楽しみにしています。

災害対応の経験や道路管理、契約業務、広報事務等、事務官として幅広い業務に携わってきた齋藤さんのお話を聞いて、事務官の業務は多岐にわたり、どの業務もやりがいを感じられることが分かりました。

貴重なお話をありがとうございました！！



道の駅での広報パネル張り替え業務

「道の駅」で情報発信をすることも事務官の仕事の1つです！

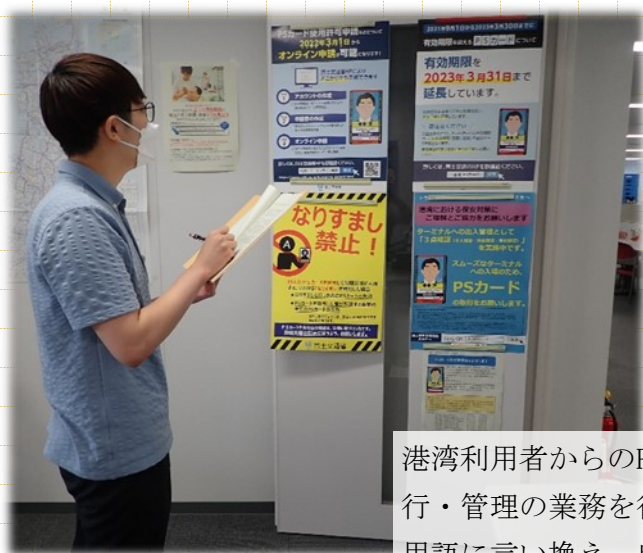


港湾

国際・国内物流が滞りなく行われるよう、港の管理や保安業務をします。また、地方公共団体が行う港湾・海岸事業においては、補助金交付や監督を行います。その他にも、港のにぎわいを創出するための広報活動等も担当します。



港湾管理者（地方公共団体）への補助金等の交付に対する申請・審査を担当しています。最初は打合せについていくのも大変でしたが、用語や法令を自分で調べ上司に確認することで知識をつけていきました。



港湾の許認可に関する業務を行っています。業務の成果が直接目に見えるので、やりがいを感じます。

港湾利用者からのPSカードに関する申請・審査及び発行・管理の業務を行っています。専門用語を一般的な用語に言い換え、申請者に分かりやすく説明できるようになったときには達成感がありました。

港湾の広報やクルーズ船の誘致に関する業務を担当しています。技官の方との連携しながら進めることも多く、新鮮な気持ちで日々業務を行っています。





井上 啓 さん
港湾空港部 港湾管理課
(令和3年度入省)

井上事務官のある1日

- 9：15 … 出勤
- 午前 … 本省に提出する資料の取りまとめ
許認可資料の確認
- 12：00 … お昼（同期と食べることが多いです）
- 午後 … 実地監査の日程調整や打合せ
- 18：00 … 退庁

東北地整を志望した理由を教えてください。

官庁訪問をした際に、現場との関わりが多いことを知り、自分も携わってみたいと考え志望しました。

入省時の思い出は何ですか？

入省して間もない頃の問い合わせ対応です。

最初は知識がなく先方の質問内容を聞き取ることが精一杯だったのですが、自分で調べたり、上司にアドバイスをいただいたりして、初めてひとりに対応できたときには、社会人としての一歩を踏み出せたような気持ちになりました。

現在の業務内容を教えてください。

国有港湾施設の管理業務や許認可等を行っています。

例えば、花火大会で防波堤から花火を打ち上げる場合に使用する場所について港湾管理者（県）と調整したり、埋立工事を行う際にはその内容に関する審査や認可を行っています。

特に印象的だった業務は何ですか？

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）として参加した給水支援です。直接災害を受けた地域に伺い、現場でサポートしたのは初めてだったこともあり、国土交通省の一員として、自分たちの仕事が必要な役割を果たしていると改めて実感した経験でした。



TEC-FORCEの様子

乗り越えた壁は

ありますか？

洋上風力の実験に関する占用許可業務です。当局と業者で直接やりとりをする業務だったので、緊張感があったのを覚えています。

関連法令や過去の資料を確認しながら資料を作成し、手続きが無事終了したときには達成感がありました。



打合わせの様子

転職についてはどう思っていますか？

まだ転職をしたことがないので未知数ですが、さまざまな地域で働くことでより東北について知ることができるので、東北に貢献できるチャンスになるのではないかと捉えています。また、上司などから地元トークを聞くこともあり、その土地ごとの特色に触れられるのが楽しみでもあります。

職場の雰囲気はどうですか？

雑談も交えてコミュニケーションを取りながら日々の業務を行うような和やかな雰囲気なので働きやすいと感じます。

最後に後輩になるかもしれない方々に一言お願いします！

港湾管理から災害対応まで幅広い業務があることに加え、他機関、地方公共団体などのさまざまな方と仕事ができるので、事務官としてやりがいを感じられる職場なのではないかと思います。みなさんと働けることを楽しみにしています。

洋上風力事業といった大きな新規プロジェクトに携わることができ、とてもやりがいを感じる仕事であることが伝わりました。ありがとうございました！！

用地

新しい道路や堤防をつくるためには、土地(用地)が必要です。用地業務では、事業に必要となる土地の取得や、建物等の物件の移転に伴う損失補償についての交渉などを行います。



用地取得を進めるにあたっての知識の習得、用地協議の経験等、慣れない業務に苦労しながらも上司にたくさん質問をして知識の習得にあたりました。また、現場には何回も足を運び、現場の見方を覚えました。

事務所管内の河川事業及び道路事業関係の用地取得を担当しました。多数相続の案件に携わっていたので、遺産分割協議書や相続説明図等の作成方法について詳しく学ぶ機会となりました。

地権者との交渉記録作成、用地買収する土地の価格を評価する土地評価を行いました。その他に地域住民への説明会や契約会にも参加し、経験を積ませていただきました。

宮古盛岡横断道路における、用地取得等業務に携わっています。地域の皆様のご協力がなければ成り立たない業務です。日々感謝の気持ちを忘れず、業務に取り組んでいます。

河川事業で必要となった用地の取得をする業務に携わっています。業務上、地権者の方と接する機会が多く、その中で事業をすることに対する感謝の言葉や防災への思いを伝えられることがあり、改めて自分が携わっている業務の責任を感じました。





幸坂 夏希 さん
岩手河川国道事務所 用地第二課
(令和2年度入省)

幸坂事務官のある1日

- 8:30** 出勤 メールと今日のスケジュールを確認します。
- 午前** 事業用地の現地調査・関係者との用地協議へ出発
…ご契約いただいた土地の状況等の確認や、お譲りいただく土地を評価するための現地調査を行います。
- お昼** 現地で昼食
訪問先で、美味しいお店を見つけるのも楽しみの1つです。
- 午後** 用地協議
…遅れることがないように、常に時間を意識して行動しています。
帰庁後には、協議内容の記録を作成します。
- 17:15** 退庁 仕事帰りに同期や先輩とご飯を食べに行くこともあります。

特に印象的だった業務は何ですか？

印象的だった業務は、関係者への補償内容等の説明を直接行う「用地協議」です。用地協議を行う中で、様々な角度からのアプローチを重ね、契約締結に至ったという経験があります。最初の頃の協議では、否定的な意見が多かったものの、次第に前向きな意見が増え、協議を重ねるごとに関係者が心を開いているように感じました。契約締結に至った日は達成感がありましたし、本当に嬉しかったです。

様々な協議を振り返ると、相手方がどのような不安を抱いているのかを汲み取り、誠意を持って、協議を継続的に行うことが重要であると感じ、それが契約締結の第一歩である「信頼関係」を醸成していると強く感じま

す。まだまだ経験不足ですが、いつか自分が主体的に説明する時に、相手に寄り添った協議ができるよう、補償基準に係ることは当然として、関連知識も積極的に習得したいと思います。



東北地整を志望した理由を教えてください。

故郷である東北に住む人々が安心して暮らすことのできる環境を整備したいと考え、安全な暮らしを多方面から整備することのできる東北地方整備局を志望しました。

入省時の思い出は何ですか？

研修を終え、初めて課に配属された日に、上司の皆さんがご飯に連れて行って下さったことです。すごく緊張していましたが、気さくに話しかけていただき、安心したのを覚えています。

現在の業務内容を教えてください。

道路事業の用地事務全般に携わっています。具体的には、事業用地としてお譲りいただく土地の評価、補償金の算定、関係者への補償内容等の説明、契約事務手続き、登記事務、補償金の支払い等、多岐に渡る業務を担当していますが、その分大きなやりがいがある仕事だと感じています。



乗り越えた壁はありますか？

用地課は事務官の中でも、技術系職員と共に仕事に携わることが多くあります。そのため、打合せの際に用いられる技術系の専門用語が分からず、打合せの内容が理解できないことが多々ありました。最初は話を聞くことだけで精一杯でしたが、打合せ終了後に分からない用語を調べ、上司に確認するという作業を繰り返し、1年目の終わり頃には、1人で打合せに参加できるようになりました。

休日はどのように過ごしていますか？

趣味がグルメ探索のため、休日は、話題になっているお店や新しくオープンしたお店に出かけることが多いです。特に、ラーメンが好きで、最近は担々麺がマイブームです！

最後に後輩になるかもしれない方々に一言お願いします！

私は、「東北地方整備局の雰囲気の良い」も魅力の1つだと考えております。パンフレットでは分からない、整備局の雰囲気を体感していただけたら嬉しいです。そして、用地業務に興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、是非見学にいらして下さい。このパンフレットを手にとられた皆さんと一緒に働くことができる日を、楽しみにしています。

用地業務は、用地協議や契約手続、補償手続等、多岐にわたり、大きなやりがいや達成感を感じられることが伝わりました。また、国の事業を進める上での第1歩であり、とても重要な役割を担っているんですね。ありがとうございました！！

建政

安全で快適な活力のある東北
のまちづくり・住まいづくりの

ため、自治体が行う再開発事業や都市計画
の支援を行っています。また、建設産業の許
認可や許認可を受けた業者の指導・監督に
関する業務を行っています。

県・市町村の管理する公営住宅管理や家
賃補助等に関わる仕事をしています。法
令・要綱の解釈や東日本大震災の復興に
関わる仕事も多く、細かいチェックや検
討が必要となりますが、整備局内でも希
な業務を体験でき、非常に勉強になって
います。



計画管理課では、自治体の都市計画や景
観行政に関する相談も受けています。身
近な地域のよりよいまちづくり・すまい
づくりを支援することができ、まちの活
性化が目に見える形で感じられる点が魅
力の一つだと思います。

若手事務官勉強会の様子

入省1～4年目の職員同士が、勉強会を自ら企画・運営し、
実施状況を発表する報告会を開催しています。また、業務に
関する疑問、職場での不安、業務への取り組み方、失敗した
ときの対処法などについて、各自で課題を共有して班ごとに
討議・意見交換を行いました。



先輩職員にインタビュー！

加藤 禎理 さん

建設部 建設産業課
(令和2年度入省)

加藤事務官の1日

9:15 出勤

適宜、審査業務、メール確認、
会議・出張等の打ち合わせを行っています

18:00 退庁

東北地整を志望した理由を教えてください。

試験後の説明会を聞き、徐々に興味を抱き、目指すことにしました。

最初から公務員を目指していましたか？

最初は漠然と公務員にしようかなと考えていましたが、説明会や友人の話聞くうちに、福利厚生、ワークライフバランスが整っていると感じ、公務員を志望しました。

入省時の思い出は何ですか？

業務中のコミュニケーションが多く、会話の途中で盛り上がったりと、とても活気のある職場だと感じました。

現在の業務内容を教えてください。

建設業者の許可審査、公共工事の入札に参加する業者の経営状況を審査する経営事項審査を担当しています。

特に印象的だった業務は何ですか？

建設業者の立入検査で、東北各県に出張したことです。その地域の街並みを肌で触れ、ご当地名物を食べることができ、大満足でした。

乗り越えた壁はありますか？

夏から秋にかけて審査業務が忙しかったですが、上司の皆様のお力添えもあり、無事に乗り越えることができました。



同期との打ち合わせ（勉強会）

転職についてはどう思っていますか？

東北出身ではないため、初めての土地で、初めての体験ができることを楽しみにしています。

職場の雰囲気はどのようなですか？

とても居心地が良いです。業務時間内外問わず気軽に上司が話しかけてくださるので、しっかりコミュニケーションをとれて、程良く肩の力を抜いて業務に取り組んでいます。

休日はどのように過ごしていますか？

スポーツと外食です。スポーツは、晴れた日はサッカー、ランニングをしてリフレッシュしています。外食は、ネットで仙台の美味しいそうなお店を探して巡っています。

最後に後輩になるかもしれない方々に一言お願いします！

頑張ってください！応援しています！

建設業者の審査をする立場として、責任が大きい上、膨大な量の書類を審査するのはとても大変な仕事だと思いますが、上司の支えもあり、心地よい環境で業務に取り組んでいることがわかりました。ありがとうございました！！



採用から現在まで



入省5年目の職員
(現：総務部 厚生課)

1～2年目

(新庄河川事務所 総務課)

職員の給与、勤務時間管理に関する業務を担当しました。給与や勤務時間管理は職員の生活に直結する業務であり、ミスできないというプレッシャーがありました。そこそこにミスはしましたが、そこから様々なことを学びながら、業務に取り組みました。

3～4年目 (道路部 路政課)

主に管理瑕疵に関する事務を担当しました。管理の瑕疵が原因で発生した事故により損傷した車両等の賠償額や過失割合の算定を行っていました。自分が算定した過失割合等に相手方が納得して示談に応じてもらえたときは、達成感がありました。

5年目 (総務部 厚生課)

職員の福利厚生に関わる業務を担当しています。職員が日々の業務の中で感じている疑問などを基に、改善等に繋がります。様々な考え方があり、一筋縄ではない部分もありますが、日々やりがいを感じています。



入省5年目の職員
(現：企画部 企画課)

1～3年目 (総務部 会計課)

・1年目

工事代金や物品購入等の支払業務を担当しました。口座の登録ミスや金額に誤りがないようダブルチェックを行いました。外部からの問合せも多く、電話対応に慣れる良い機会となりました。

・2年目

給与の支払業務を担当しました。約2,800名の支払を一括で行うため、毎回緊張しながらの作業でした。この業務で人生で初めて小切手を切るという経験をしました。

・3年目

工事関連諸費(人件費・旅費・謝金等)の予算管理を担当しました。国の予算の使い道はとても細かく決められており、その中でやりくりが大変でした。

4～5年目 (企画部 企画課)

技術系職員のリクルート・研修を担当しています。リクルートでは学生と、研修では様々な分野の担当者と接するため、とても楽しく、イベントや研修の企画運営を通してロジの大切さを学ぶことができます。また、入省1年目の方に研修等の際にお会いすると、採用活動の時からみなさん成長していて、自分も頑張ろうと元気をもらえます。



入省6年目の職員
(現：鳥海ダム工事事務所 用地課)

1～2年目

(福島河川国道事務所 用地第二課)

道路事業用地の取得に携わっていました。周囲の支えもあって「なんとかやり遂げることができた」といった感じの1年でした。2年目は1年目に比べると仕事の流れが分かるようにはなりましたが、苦情の電話の対応をした際は、ご理解をいただくことの難しさを痛感しつつも、自分の中では大きな糧となりました。

3年目

(福島河川国道事務所 用地第一課)

砂防堰堤用地となる箇所を所管する関係機関との調整がメインでしたが、現地調査もありました。現場は山奥だったため、現地調査と言っても登山のような感じで、非常に体力を使ったのが印象に残っています。

5～6年目

(鳥海ダム工事事務所 用地課)

ダム事業は規模が大きいので、膨大な数の関係者や行政機関と協議することが多いです。地域にとって念願であることから、プレッシャーも大きいですが、用地を買収できた時の達成感もまた大きなものです。

採用されてから今までどのような業務に携わってきたのか、 若手職員の経歴をご紹介します！



入省5年目の職員
(現：河川部 水政課)

1～4年目 (総務部 人事課)

・1～2年目

給与の支払業務、手当支給のための認定作業を担当していました。職員の生活に直結するものなので、間違いがないよう細心の注意が必要でしたが、上司や同僚と綿密に意見を交換しながら業務に当たり、円滑に進めることが出来ました。

・3～4年目

研修のカリキュラムを考えたり、外部機関で開催される研修に職員を派遣する業務を担当しました。その中でも、若手職員を対象とした勉強会やセミナーを開催した際は、自身が当事者ということもあり、業務の成果を直に感じた瞬間でした。

5年目 (河川部 水政課)

農業や水力発電のために川から水をとるための許認可を担当しています。お米を作ったり、水道水を供給するための水はほとんどが川やダムの水が使われていますが、それによって川に悪い影響がないか、確認する業務です。河川は生活や産業に欠かせないものである反面、大雨が降れば生活や人命を脅かす可能性もあります。日常的に目にする河川や水がどのように管理されているのか知ることが出来、毎日新たな発見があります。

入省1年目の職員の業務

実際どのような業務を行っているのか、
採用1年目の職員に聞いてみました！



(総務部 人事課)

採用関係や職員の経歴・勤務の証明などの業務を行っております。入省当初は慣れることで精一杯でした。その後は、先輩と共に採用に係る広報活動など通じて、多くの学生に説明会へ参加してもらえたことが、印象に残っています。

(道路部 路政課)

道路区域の変更・供用の開始に係る内容審査等や官報に掲載するための原稿作成や手続きを担当しています。実際に自分が手続きを行った道路が開通すると頑張ってたよかったです。



(福島河川国道事務所 用地第一課)

河川事業で必要となった用地の取得をする業務に携わっています。業務上、地権者の方と接する機会が多く、その中で事業をすることに対する感謝の言葉や防災への思いを伝えられることがあり、改めて自分が携わっている業務の責任を感じました。



(磐城国道事務所 管理課)

主に道路占用関係の業務に携わっています。最初は法令や細かい規定などが全く分からず大変でした。空いている時間はとにかく資料や法令を読んで勉強をしたことで、徐々にスムーズに仕事を進められるようになりました。



(新庄河川事務所 経理課)

主な業務は、物品の購入や管理です。その中でも、工事で発生した鉄くずや木材の売払い業務は、業者との電話に慣れず、準備することも多く大変でした。しかし、無事に買取業者が決まったときは、大きな達成感を感じました。



Q&A 入省1～6年目の若手職員に志望動機や入省当時の思い出などを聞いてみました！

Q1

東北地方整備局へ入省した決め手は何ですか？

私自身が震災（東日本大震災）で被災しており、被災当時に全国の方々からたくさんの援助をいただきました。その経験から、震災の復興・発展に携われる、且つその過程を一番近いところから見られる仕事であること、また、災害等で助けられる側から、助ける側になれる仕事であることに魅力を感じて、東北地方整備局への入省を決めました。

東日本大震災を身近で感じ、少しでも復興事業に携わりたいと考えていました。就活の際に「東北地方整備局」という組織を初めて知り、震災時での対応で地域から高い評価を得ているこの組織に強い魅力を感じました。官庁訪問の際、本局庁舎が綺麗だったのも決め手でした。

女性職員による業務説明会での職員さんと会話したとき、実際に働くイメージがわいて、働きやすい環境が整っているように感じられました！

東北地方整備局は社会を支えるインフラづくりを担う省庁であり、数ある省庁の中でも「スケールの大きな仕事」ができるのではないかと考えたことが決め手になりました。

学生時代に東北を離れたことで、東北には自分の知らない魅力がまだまだあるのではないかと、観光・定住両方の観点から東北に人を呼び込みたいと考えるようになりました。そのためにはまず、生活の根本となるインフラの整備が重要であり、そこに少しでも携わりたいと思い志望しました。また、1箇所に留まるより、いろいろな場所で仕事がしてみたいと思ったのも理由の1つです。

女性のための座談会で、仕事だけでなく休暇や育児などについての体験談を聞いて、女性でも安心して働き続けることのできる環境が整っていると感じました。



携わる事業の幅広さ（道路・河川など）に驚き自分もこの組織の中で業務に携わりたいと思いました。

東日本大震災当時、当局職員も被災されている中、国民のため震災復旧に励んでいる姿に深く感銘をうけ、生まれ育った東北の復興に貢献できる仕事がしたいと思い、志望しました。



Q2

入省後の思い出を教えてください！

横のつながりも縦のつながりも多く、職場のみなさんとフットサルやマラソンで汗を流しました。また、同期と遊んだり、一緒にご飯や飲みに行くとリフレッシュできます。

何度か現場見学をさせていただく機会があり、ダムや道路等、事業規模の大きさに圧倒されました。

大きなミスも上司がなんとか助けてくれ、上司の偉大さを感じました。

入省1年目の年に完成した気仙沼湾横断橋を歩いたことは強く印象に残っています。供用前に見学させてもらったのですが、自分たちの仕事がいかに大きな形になっていることを実感でき、滅多にできない経験だったと思います。

はじめは電話の取り方や敬語の使い方、ビジネスメールの送り方もわからず、上司や同僚に教えてもらいながら仕事をしていました。電話で「いつもお世話になっております、〇〇課の〇〇です」というはずが緊張して「い、いつもお世話になっておりません！！」と大声で言ってしまったことがあります。

同じ課の上司と休日に釣りに行って、その帰りに飲みに行きました。すばらしい休日を過ごしました。また、同じ事務所の同期と車で県内を旅をして、いろんな所に行けたし、仲良くなれてよかったです。

1年目の夏、道路副主催でねぶた祭りに参加し、上司部下関係なく皆で跳ねました。2年目と3年目はコロナにより開催しなかったため、コロナが収束したらまた皆で跳ねに行きたいです。

新規採用職員研修が印象に残っています。入省当時は、コロナ禍で他事務所の同期と関わる機会がありませんでしたが、研修をきっかけに仲良くなれたのでよかったです。






Q3

入省前後で業務や職場の雰囲気など、イメージのギャップはありましたか？

公務員というだけで、お堅いイメージが入省当初はありました。淡々と日々の業務をこなすだけかと思いましたが、話しやすい方々も多く、風通しの良い職場環境だと感じました。また、事務官、技官等の様々な方々と関わっていくなかで、連携することで公共事業は成り立っていること、東北地方整備局で行っている事業規模の大きさも改めて、実感しました。

事務官とえば、ずっとデスクワークで総務厚生のみ行うと思っていましたが、以外と現場に行く機会があったり、道路や河川に関する業務にも携わることができ、幅広い業務があることに驚きました。



一人一人がパソコンに向かってひたすらに仕事するイメージでしたが、実際は上司や同期などの周りの職員との交流機会が多く明るく風通しの良い職場でした。また、地元がばらばらなので、地元の有名な食べ物などについて話す時間がいろいろ聞いて楽しいです。

Q4

社会人になる上で苦労したことはありますか？

電話対応の仕方やメールの書き方、敬語の使い方など、学生時代に細かいところまで学ぶことができない部分に関して、慣れるまでに苦労しました（なお現在も勉強中です）。

入省後、生活リズムを作り上げていくことに苦労しました。また、学生ほど自由な時間があるわけではないので、時間を有効に利用する工夫を考えていた気がします。

パソコン関係の知識が乏しく、業務を効率的に進めることができなかつたため、大学時代にもう少し勉強しておけばよかったと感じました。

入省してまず苦労したのが決裁でした。自分では分かっているつもりでも指摘を受けて答えられず、確認に戻るといったことが何度かありました。ただ、その一方で実際に自分が手続きを行った道路が開通すると頑張っただけよかったと感じることもありました。

Q5

仕事をする上で心がけていることは何ですか？

業務を行う上でのスケジュール管理を徹底することです。実際、2、3個の業務を同時並行で行うことが多々あります。そのような中で業務を効率良くこなしていくためには、優先順位をつけて業務を行ったり、目標達成までの道のりを逆算して仕事を行うことが、ミス減らす・なくす上でも必要であると感じています。

一人で仕事をしているわけではないので、各方面への影響を考えて行動し、報告や情報共有はこまめにするよう心がけています。

報告・連絡・相談。どんな仕事をするにしても経過・結果報告は忘れないようにしています。

分からないことをそのままにしないこと。また、質問の仕方についても「どうしたら良いでしょうか？」とただ上司に質問するのではなく、「こうすると良いと思うのですがどうでしょうか？」と一度自分の中で整理してから上司に質問するようにしています。

仕事は、一人ではできないのでコミュニケーションを自分からとるように心掛けています。上司の方々や後輩達はもちろんですが、事務官だけではなく技官の方々ともコミュニケーションをとることで円滑に業務を遂行できると考えますので、緊張はしますが自分からなるべく話すよう心掛けています。

しっかり吟味すること。特に急がない場合は正確さの方が大事だと思いますし、小さなミスも積み重なれば時間ロスになるため、確認を怠らず丁寧に仕事をするのを心がけています。

今自分がしている仕事は、どの位置づけでどんな意味があるのか、目的を把握すること。そうすることで、理解が深まり仕事の流れもつかめるようになるし、モチベーションも上がります。



Q6

採用1年目にやっておいた方がいいこと、 やって良かったことはありますか？

仕事は「締切に間に合えば良い」ではなく、「忘れる前にやる」ように習慣付けておくと良いと思います。締切直前に慌てて作業することが減り、ミス防止にもつながります。また、上司が不在で決裁に時間がかかることもあるため、時間的余裕をもって作業する癖をつけておくと役に立つと思います。

最初は自分がやっている業務で、精一杯だと思いますが、色々な業務を行っている方の話を聞いたりすると視野が広がると感じたので、色々な方とコミュニケーションをとっていきべきだと考えます。

上司や、他の人が話したり、相談している内容をよく聞くこと。（自分の業務と関わりがなさそうなことでも、後に必要になる知識かもしれません。）

同じ事務所はもちろん、他事務所の同期とも交流を深めること。特に、他事務所で同じ仕事に携わる同期とは、仕事の進め方や悩み等を共有することができ、貴重な存在だと感じました。

分からないことがあれば積極的に先輩方へ確認する姿勢が大切だと思います。もちろん自分自身で調べることが大事ですが、先輩方も新規採用の方々とたくさんお話したいと考えていると思うので、些細なことでも質問してコミュニケーションの機会を増やしてもらえればと思います。

とにかく現場を見に行く！上司にその希望を伝えたり、若手での勉強会を企画する中で現場視察を組み込んでいくことで現場を見に行けます。現場は1回行って終わりではなく、現場で知った近くの観光地等に休日に行ったりして観光できるので、楽しみながら東北地整の仕事への理解が深まります。

Office系ソフト（特にExcel）に慣れておくことである程度スムーズに業務をこなせるかと思います。また、電話には積極的に出て、電話対応をしっかり身につけておいた方が良いでしょう。

他にも…

- ・元気に挨拶をすること
- ・名前と顔を覚えること
- ・法令や通知をよく読み、知識量を増やすこと
- ・とにかくメモをすること
- ・生活リズムを整えること
- ・休暇を取ること
- ・1月あたりの収支を把握すること
- ・貯金すること

などたくさんアドバイスをいただきました！



Q7

最後に、後輩になるかもしれないみなさんに一言お願いします！

研修やセミナーを通して人材育成をサポートする体制が整っていることはもちろん、事務系の職員のお仕事は総務や経理、用地と分野の幅が広いので、単一の専門分野だけでなく、たくさんを経験し学んでゆけるというのが大きな魅力のひとつだと感じています。自分自身を成長させられる職場として、少しでも興味を持っていただけたら幸いです。

技術だけでなく事務官においても、インフラ事業には様々な形で関われることをこの身で実感しました。もし、社会資本整備に興味があれば、是非説明会やインターン等を利用して東北地方整備局を知ってみてください。

パンフレットを見たり話を聞いただけだと、実際には想像がつかないことが多いかと思います。しかし、入省後は先輩職員がしっかりとサポートしてくれるので、自然と仕事は身につきます。みなさんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

私は東北地方整備局は人柄が良い方が多く、働きやすい職場だと思っています。また、事務官・技官問わず、事務所採用になると現場に行く機会が多くあり、東北地方整備局が地域に対して貢献しているということを実感することができ、やりがいを感じやすい職場ではないかと思っています。みなさんの入省をお待ちしています。

東北地方整備局の仕事は、道路や堤防、ダムといった大規模な構造物を作る場面に携われるという点や、これらの構造物の維持・管理を通して幅広く社会に貢献できるという点が魅力だと思います。事務官としての仕事も契約事務や維持管理業務、用地買収など多岐にわたりますが、いずれもインフラの建設・維持・管理に密接に結びついており、自分の仕事の成果が目に見える形で反映されていきます。非常にやりがいのある仕事かと思っていますので、是非とも東北地方整備局を志望してみてください。

東北地方整備局は、国民の安全を守るための基盤を多方面から整備することができ、やりがいを持って働き続けることができます。官庁訪問等に足を運び、パンフレットだけでは分からない東北地方整備局の雰囲気を感じていただけたら嬉しいです。

製作：総務部人事課(2022)

〒980-8602 仙台市青葉区本町3丁目3番1号 仙台合同庁舎B棟

TEL 022-225-2171(代表)

行政系採用担当 総務部人事課 任用係



東北地方整備局



採用担当
(HP)



採用担当
(facebook)